

韓国の市民・労働団体が共同記者会見

# 米韓合同軍事演習を中止せよ 核戦争、日本の再侵略にも道ひらく！

連日のように「北朝鮮による挑発と威嚇」を騒ぎ立てている日本社会。朝鮮半島・アジアの軍事的緊張が高まっているのは事実ですが、この「対決構造」は誰が？何のためにつくりだしているのか？ひとたび交戦となれば被害を受けるのは誰か？ここを見極めることが重要ではないでしょうか。

「北朝鮮は怖い国」「国民の生活を守るためにはやっぱり安保法制が必要」と感情的、感覚的に流されてしまうことが怖いと思います。

戦争を体験した世代は「国は国民を騙すもの」ということを身をもって

知っていると云います。安倍や橋下ら改憲勢力に騙されないよう真実をつかもう。

挑発してるのはどっち？！

三月七日から約二ヶ月、史上最大規模の米韓合同軍事演習「キリーソルブ」「フォールイーグル」が行われています。朝鮮民主主義人民共和国（以下「共和国」と略）に対する先制攻撃戦略「五〇一五作戦計画」に基づき、米韓あわせて三〇数万の兵力と、代表的な先制攻撃戦力の原子力空母と核潜水艦、ステルス戦闘機などが投入されてい



ます。先制攻撃によって共和国の体制転覆・占領を狙い、「斬首作戦」と称する指導部殺害の演習まで行っています。

米韓と比較すれば人口・GDP・軍事力等はるかに小さなこの国に対しこれほど強烈で野蛮な威嚇、挑発があるのでしょうか。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！

### 韓国内で反対運動

#### 核戦争の危機うつつたえ

こうした状況に対し、韓国の数十の市民・労働団体は「朝鮮半島に核戦争の危機を呼び、東北アジアでの対決を激化させる韓米合同軍事演習キーゾルプ・フォールイーグルは直ちに中断せよ！」と共同記者会見を行い反対運動を展開しています。

会見文では、「先制攻撃が韓国の憲法など、国内法や国連憲章を初めとする国際法違反という事実については、改めて指摘する必要はないこと」「朝鮮半島では極度の対

決構造がつくられている」

「ささいな軍事的衝突さえも抑えられず拡大し、二〇一三年春の朝鮮半島核戦争危機を超えるような危機をよび、実際に核戦争に拡がる可能性も決して排除できないという状況になっている」と指摘しています。



### 安倍政権の朝鮮半島

#### への再侵略をゆるすな!

更にこうした状況が「東北アジアにおいて日米対中露間の対立も一層激化させ…」 「日本軍の朝鮮半島への侵入の名分とチャンスを広大させるものとなっている。日米新防衛協力指針の改定や安保法（戦争法）制定の過程で、北朝鮮への先制攻撃をも示唆してはばからない安倍政権は、日米合同の対北先制攻撃作戦計画を策定し、朝鮮半島への軍事的介入を狙っている。……朝鮮半島の戦争危機が高まることは、

朝鮮半島への再侵略を狙

い改憲で自衛隊を国防軍にすげ替えようとしている安倍政権にとって、良

い口実を与えることだろう。……日本の統合幕僚長が：合同軍事演習を全面的に支援するという立場を明らかにしたのも、攻勢的韓米合同演習で作られる朝鮮半島危機に、日本が期待（？）する隠れた野心と強欲が現れている。」と弾劾。「韓国へのサード（THAAD高高度）ミサイルの配備と韓米日トライアングルのミサイル防衛システム、同盟構築のための要石となる」と指摘しています。

安倍政権は共和国が

「防衛的」に対抗して核軍事力へと走っていることを格好の口実にして、嬉々として軍事介入のチャンスをねらっています。辺野古新基地も、オスプレイ配備や自衛隊基地の拡大・強化なども全てつながっています。

米韓は合同演習、軍事的圧迫を止め平和条約を！

戦争の危機回避について、会見文は「朝鮮半島の非核化への道は、北に

対する軍事的圧迫やキーリゾルプ・フォールイーグルなどの演習を中断し、…北朝鮮に対する安保脅威を解消するところから

求めなければならぬ。」

「北朝鮮の提案通り、核実験とキーリゾルプ・フォールイーグル軍事演習を同時に中断するところから解決の糸口が見いだせるだろう。」と「恒久的な朝鮮半島の平和体制構築」のために平和協定締結への道筋を提起し「朝鮮半島の非核化と平和協定締結を同時に達成」することを米韓両政府に求めています。

日本の戦争法、基地、

改憲が朝鮮半島で何を引き起こすのかを考えながら、南北朝鮮の人々と連帯して闘いを進めていきましょう。

# 辺野古にいこう！



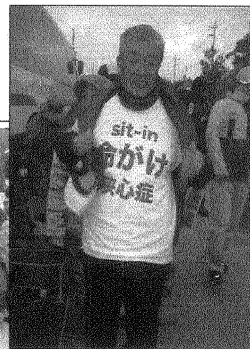
↑ 辺野古の浜にたつテントの座込みは12年を経過。



キャンシュワブ前座込みテント。関生と全港湾大阪支部からカラフルなブロックが贈られていた。

二月、南労会支部の二人が新基地建設阻止の辺野古座込み行動に参加しました。三月二七日の集会で名護市長の稲嶺さんも「皆さん名護に来て下さい」と。国は何も考えを変えてないので現地では座込みも、カヌー隊の海上行動も続いています。ぜひ現地にも身を置き五感で感じ考える機会をつくってみては？

↓ 暴力的排除が任務。多額の税金使い警視庁からも派遣。



↑ 狭心症で命がけの座込み。名護市の議員さんでした。

組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！